教育のぼりべつ

令和７年
10月1日
No.47

発行；登別市教育委員会 TEL. 0143-88-1100　〒059-0014 登別市富士町７丁目 33 番地

宿泊学習　自然体験学習にチャレンジ！

９月９日（火）・１０日（水）ネイチャーセンターふぉれすと鉱山で若草小学校の宿泊学習が実施されました。午前は、施設周辺の散策路でネイチャーウォークラリーを楽しみながら鉱山町の自然や歴史に触れました。午後は、「本気のリバートレッキング」「やさしいリバートレッキング」「初心者リバートレッキング」の３コースに分かれて自然体験学習を行いました。本気のリバートレッキングでは、ライフジャケットとヘルメットを身に付け、施設近くの幌別川に入り、流れに身を任せ自然を満喫し楽しい体験となりました。





「仲間の応援に頑張る体育大会」

７月１４日（月）、日鋼室蘭スポーツパーク（入江運動公園陸上競技場）で鷲別中学校体育大会が開催されました。熱中症の危険があるため延期されていましたが、暑さも和らぎ体育大会日和となりました。個人種目と全員リレー等の点数で学級対抗で行われ、生徒全員が自己新記録を目標にチャレンジしていました。会場のスタンドには、多くの保護者が応援に駆けつけ、声援を送っていました。



男子１５００M



１年女子１００M

「Let's Enjoy!夏休み英語教室」

８月８日（金）、登別市民会館で中学生を対象とした英語教室を初めて開催。

英語教室のプログラムは、自己紹介から始まり、英語しりとりや伝言ゲームなど、英語に親しんでもらうことを目標にALT（外国語指導助手）が企画しました。

参加した２０名の生徒たちは、ALTのネイティブの英語に苦戦しながらも、学校や学年の壁を越え、チームで協力しながら最後まで楽しんで取り組んでいました。冬休みも開催を検討していますので、お楽しみに。



まずは、自己紹介



英語しりとりの様子

「デンマークファミリーと交流」幌別中学校

市の友好都市、デンマークのファボー・ミッドフュン市のクリスチャン・ヤコブセンさん（４２歳）は、１９９６年１３歳の時にリンゲフリー校の生徒１０名と引率者３名の訪問団の一員として登別を訪れました。また、昨年の夏には登別市からデンマークを訪れた中学生２名のホストファミリーを経験しました。その後、今後も登別の生徒との交流に関わりたいとの思いから、ファボー・ミッドフュン登別友好協会に加入し、今回家族５名で登別を訪れました。

７月１６日（水）に幌別中学校を訪問し、３年生の英語の授業で交流活動を行いました。交流活動では、各グループを周り互いに自己紹介をし、生徒より英語で質問を受け回答していました。生徒は「デンマークには、給食はありますか？」「好きな日本語は？」など、積極的に質問をしていました。一家は、給食を３年生の生徒と一緒に食べ友好を深めました。





舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)

「歌舞伎芝居」について　ワークショップで学習・体験

６月１７日（火）に「学校巡回公演」のワークショップ（独立行政法人日本芸術文化振興会主催）が幌別小学校で開催されました。



ワークショップは、公演団体(一般社団法人劇団前進座)舞台俳優から日常の会話と演劇的発声の違い、歌舞伎の演出を強調する“ツケ”（木の板を打つ効果音）や、立ち回りの所作等の説明を受けました。

参加した子どもたちは、金魚売りなど江戸の行商人の売り声を大きな声で発声したり、自分で作成した新聞紙の刀を使っての立ち回り等に熱心に取り組んでいました。このワークショップを受けた幌別小学校の６年生の代表３名は、９月１２日（金）に総合体育館で行われた公演【出前芝居「くず～い屑屋でござい」ー古典落語「井戸の茶碗」】の中で披露し、市内全小学校の６年生が鑑賞しました。公演の様子は次号で紹介します。



自前の刀を歌舞伎技特有の立ち回り



代表生徒が“ツケ”に合わせて立ち回り

「いじめ撲滅集会「DBA 集会」

７月１６日（水）に幌別中学校で、DBA 集会が開催されました。DBA とは、「Don't　Bully　Anybody」の略で「誰にもいじめをさせない」ということを意味しています。事前に全校生徒にアンケートを取り、その結果や分析を報告したり、生徒会役員が演じたいじめが題材のロールプレイを観て縦割りグループのディスカッション（座談会形式）で自分の考えを訴えていました。生徒たちは積極的に参加し、全校生徒みんなで協力していじめゼロを目指していこうと決意しました。



ロールプレイの様子



ディスカッションの様子

登別市「こども 110 番スタディちゃんの家」駆け込み訓練の開催（若草・富岸小学校区）

「こども 110 番スタディちゃんの家」を活用し、子どもが不審者に遭遇した場合に備える「駆け込み訓練」が４年目をむかえました。今年度は、若草小学校・富岸小学校の２校で実施しました。若草小学校では、雨天のため体育館で行われ、子どもたちが青少年センターの職員より事前説明（全体の流れ、「いかのおすし」、不審者役について）を聞き、いざという時に防犯ブザーを使用できるか、大きな声を出せるか練習をしました。また、「いつ、どこで、何があったか、どんな人だったか」など、不審者役の特徴を覚えておきましょうと説明を聞いた後、子どもたちは不審者役から「コンビニはどこ？車に乗って案内して」、スマホを向けられ「かわいいね。何年生？」といろいろと声を掛けられましたが、防犯ブザーを鳴らし「助けて！」と叫びながら「スタディちゃんの家」登録者役の職員の所に向かって走り避難しました。その後「スタディちゃんの家」登録者役の職員が子どもたちを保護し、被害状況などを聴取して警察へ通報し、子どもたちを引き渡すとともに、聴き取り内容を報告しました。



説明をしっかり聞き出発（若草小）

若草小訓練の様子



不審者に声を掛けられる子どもたち



子どもたちの被害状況を聞く

富岸小訓練の様子



走って避難する子どもたち



子どもたちの被害状況を聞く